

# 短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2013年7月11日～2023年10月25日

第119期決算日：2023年5月25日 第122期決算日：2023年8月25日

第120期決算日：2023年6月26日 第123期決算日：2023年9月25日

第121期決算日：2023年7月25日 第124期信託終了日：2023年10月25日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、ロシアルーブル建ての短期公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行ってまいりました。ロシアのウクライナ侵攻の影響により、このような形で満期償還を迎えましたこと、また償還後の手続きが残る可能性が生じたことについて、大変遺憾に存じております。何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。ここに謹んで運用経過をご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしく御願ひ申し上げます。

### 第124期末（2023年10月25日）

償還価額 354.05円

純資産総額 44百万円

### 第1期～第124期

騰落率 - 94.1%

分配金合計(\*) 3,200円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・  
ダウンロード方法



<https://www.am.mufug.jp/>

[ファンド]  
を選択

[償還ファンド一覧]  
を選択

当ファンドのファンド名称を  
選択し、運用報告書（全体版）  
を選択

**MUFG** 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号  
ホームページ <https://www.am.mufug.jp/>

### ■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  0120-151034

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第1期～第124期：2013年7月11日～2023年10月25日

## ▶ 設定来の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第1期首	10,000円
第124期末	354.05円
既払分配金	3,200円
騰落率	-94.1%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ94.1%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

## ▶ 基準価額の主な変動要因

### 下落要因

ロシアルーブルが対円で下落したことや、ロシア国債の価格が大幅に下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

2023年4月26日～2023年10月25日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第119期～第124期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	0	0.017	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(0)	(0.006)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(0)	(0.006)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(0)	(0.006)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.299	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.283)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.013)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	1	0.316	

作成期中の平均基準価額は、355円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

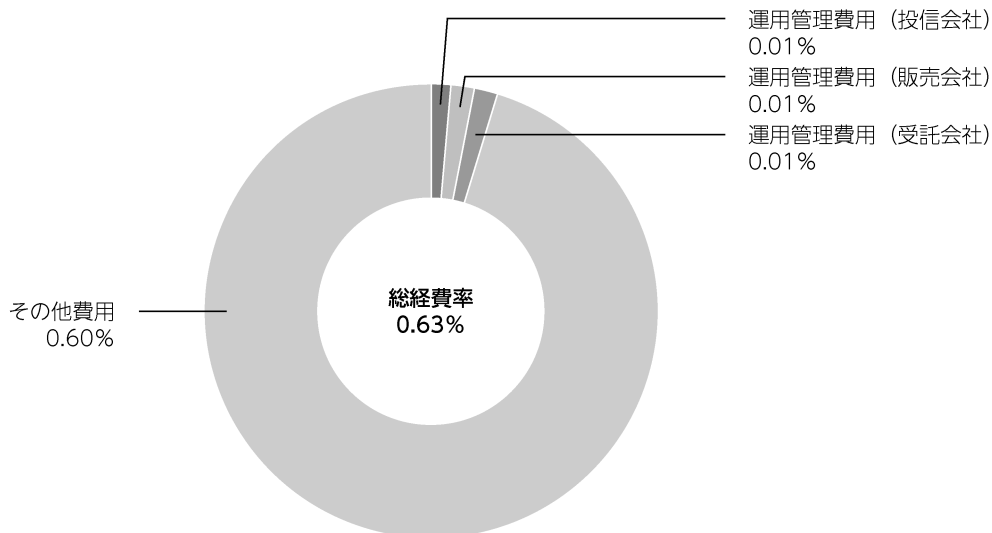
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.63%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

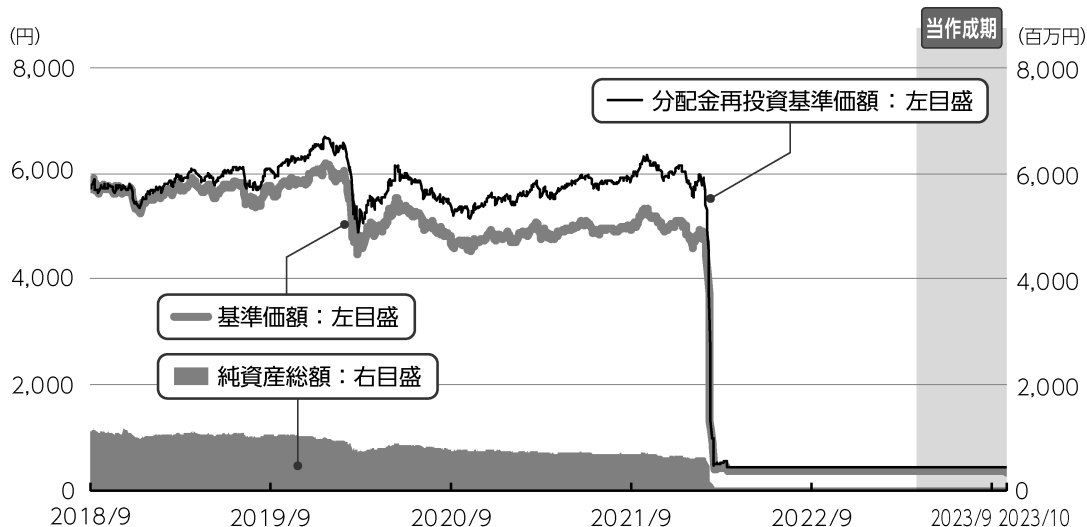
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2018年9月25日～2023年10月25日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2018年9月25日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2018/9/25 期初	2019/9/25 決算日	2020/9/25 決算日	2021/9/27 決算日	2022/9/26 決算日	2023/9/25 決算日	2023/10/25 信託終了日
基準価額 (円)	5,710	5,659	4,687	5,000	356	355	354.05
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	360	330	240	100	0	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	5.6	-11.9	12.1	-92.7	-0.3	—
純資産総額 (百万円)	1,119	1,045	754	682	44	44	44

※ファンド年間騰落率は、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※信託終了日の騰落率および期間分配金合計については、直近決算から信託終了日までの期間が1年に達していないため表示していません。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第1期～第124期：2013年7月11日～2023年10月25日

## 投資環境について

### ▶ 債券市況

**ロシアの債券市場では、2022年2月以降、非居住者による取引が困難な状況が継続しました。**

設定時から2014年12月ごろにかけては、ウクライナ情勢などの地政学的リスクの高まりやそれに伴う欧米諸国による対ロシア経済制裁などを背景に、ロシア中央銀行が政策金利を引き上げたことなどから、短期ゾーンのロシア金利は上昇しました。

2015年1月ごろから2015年4月ごろにかけては、ウクライナ情勢などの懸念が後退したことなどから、短期ゾーンのロシア金利は一転して低下しました。

2015年5月ごろから2020年7月ごろにかけては、短期ゾーンのロシア金利が上昇する局面もあったものの、期間を通じてみると、抑制的なインフレ圧力などを背景に、短期ゾーンのロシア金利は概ね低下基調で推移しました。

2020年8月ごろから2022年1月ごろにかけては、インフレ率の加速などを背景に、ロシア中央銀行が複数回利上げを実施したことなどから、短期ゾーンのロシア金利は上昇しました。

その後、信託終了日にかけては、ロシアのウクライナ侵攻を受けた欧米諸国によるロシアへの経済制裁やそれに対するロ

シアの対抗措置に伴い、ロシア市場の流動性が著しく悪化したことなどを背景に、短期ゾーンのロシア金利が上昇するとともに、非居住者によるロシア国債の取引が困難な状況が継続しました。

### ▶ 為替市況

**設定時に比べ、ロシアルーブルは対円で下落しました。**

設定時から2015年4月ごろにかけては、欧米諸国による対ロシア経済制裁などを受け、ロシアルーブルは円に対して大きく下落する展開となりました。

その後、2015年5月ごろにかけては、ロシアルーブルは対円で反発したものの、2016年2月ごろにかけては、新興国の景気減速懸念などから投資家のリスク回避姿勢が高まり、円が主要通貨に対して買われたことなどから、ロシアルーブルは対円で再び下落する展開となりました。

2016年3月ごろから2017年5月ごろにかけては、主要な輸出品目である原油の価格が底堅く推移したことや、米国大統領選を受けて米国との関係改善が期待されたことなどから、ロシアルーブルは対円で上昇しました。

2017年6月ごろから2020年10月ごろにかけては、2018年4月上旬に米国から新たな対ロシア制裁措置が発表されたこと

や、2020年2月中旬以降の新型コロナウイルスの感染拡大に伴う投資家のリスクセンチメント悪化などが下落要因となり、ロシアルーブルは対円で下落基調で推移しました。

2020年11月ごろから2022年1月ごろにかけては、原油価格が上昇したことや、ロシア中央銀行が段階的に利上げを行ったことなどから、ロシアルーブルは対円で上昇しました。

2022年2月ごろから2022年6月ごろにかけては、ロシアのウクライナ侵攻に伴

うロシア市場の流動性悪化などを受けて、ロシアルーブルが対円で大幅に下落する局面もありましたが、ロシア政府が導入した資本取引規制による国際収支の改善などを背景に、ロシアルーブルは対円で大きく上昇しました。

その後、信託終了日にかけては、主要国によるロシアへの経済制裁が強化され、ロシア産原油の輸出価格に上限が設定されたことなどを背景に、ロシアルーブルは対円で下落しました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）

短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券への投資を通じてロシアルーブル建ての短期公社債に実質的な投資をしました。

最終期間（2023年4月26日～信託終了日）は、上記の運用を維持し、信託終了日にかけてマザーファンドの償還金を受領しました。

### ▶ 短期ロシアルーブル債マザーファンド

ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とし、期間を通じて、残存期間3年以内のロシアルーブル建て国債（当

該債券）などを中心に組み入れました。ロシア市場の流動性悪化などを背景に、当該債券評価入手先の主力価格情報会社による価格算出が不可となったことなどを受け、2022年3月10日以降、組入債券の評価価格をゼロとしています。当該債券の一部において、利息が本来の支払期日から30日を超過しても支払われない状況が発生し、当該債券の利息を受け取る見込みが立たないことを受けて、2022年4月6日以降は、組入債券に関して保有期間に応じて日々計上している未収利息の評価をゼロとしています。最終期間（2023年4月26日～信託終了日）は、組入債券の売却、ロシア国債利



金や償還金等の債権の回収など現金化に努めて参りましたが、米欧の経済制裁等の影響を受け現金化できない資産が残りましたため、償還後も引き続き清算をめざして運営・管理を継続してまいります。現金化できずに残った資産は、ロシアルーブル建てのロシア国債3銘柄（合計額

面は375,000千ロシアルーブル）です。うち1銘柄は2023年8月に償還済ですが利金・償還金を受け取れておらず、残り2銘柄は2024年中に償還を迎える予定です。いずれの銘柄も、評価価格は、2022年3月10日以降、ゼロとしています。

### ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、信託期間中、累計で3,200円の分配を行わせていただきました。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第119期 2023年4月26日～ 2023年5月25日	第120期 2023年5月26日～ 2023年6月26日	第121期 2023年6月27日～ 2023年7月25日	第122期 2023年7月26日～ 2023年8月25日	第123期 2023年8月26日～ 2023年9月25日
当期分配金 (対基準価額比率)	— (—%)	— (—%)	— (—%)	— (—%)	— (—%)
当期の収益	—	—	—	—	—
当期の収益以外	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,603	2,603	2,603	2,603	2,603

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## 償還価額

### ▶ 短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）

償還価額は、354円05銭となりました。

満期償還に際しては、保有有価証券の売却、ロシア国債利金や償還金等の債権の回収など現金化に努めて参りましたが、米欧の経済制裁等の影響を受け現金化できない資産が残りましたため、償還後も引き続き清算をめざして運営・管理を継続してまいります。ロシアのウクライナ侵攻の影響により、このような形で満期償還を迎えましたこと、また償還後の手続きが残る可能性が生じたことについて、大変遺憾に存じておりますが、何卒、ご理解を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。  
2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。  
(2023年10月1日)

## ▶ その他

- ・本件ファンドの満期償還に際しては、保有有価証券の売却、ロシア国債利金や償還金等の債権の回収など現金化に努めて参りましたが、米欧の経済制裁等の影響を受け現金化できない資産が残りましたため、償還後も引き続き清算をめざして運営・管理を継続してまいります。

米欧の経済制裁等によるものであることから、清算の可否や時期、金額等についてはお示しできないものの、現金化が可能となり、返還費用の控除後に返金できる金銭が残った場合には、償還時の受益者のみなさまに償還時の保有口数に応じた返還金（清算代金）をお支払いいたします。詳細につきましては、弊社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

- ・当ファンドの償還日（2023年10月25日）においては、米国政府によるロシアへの経済制裁措置により、米国人がロシアの政府（Directive 4 under Executive Order 14024）や一部のロシア企業（Executive Order 14024などに基づくSDNリスト対象者及びその者が直接・間接に50%以上所有する企業）が発行した有価証券の利金・償還金・配当金の受領を含む一切の取引に関与することは禁止されております。

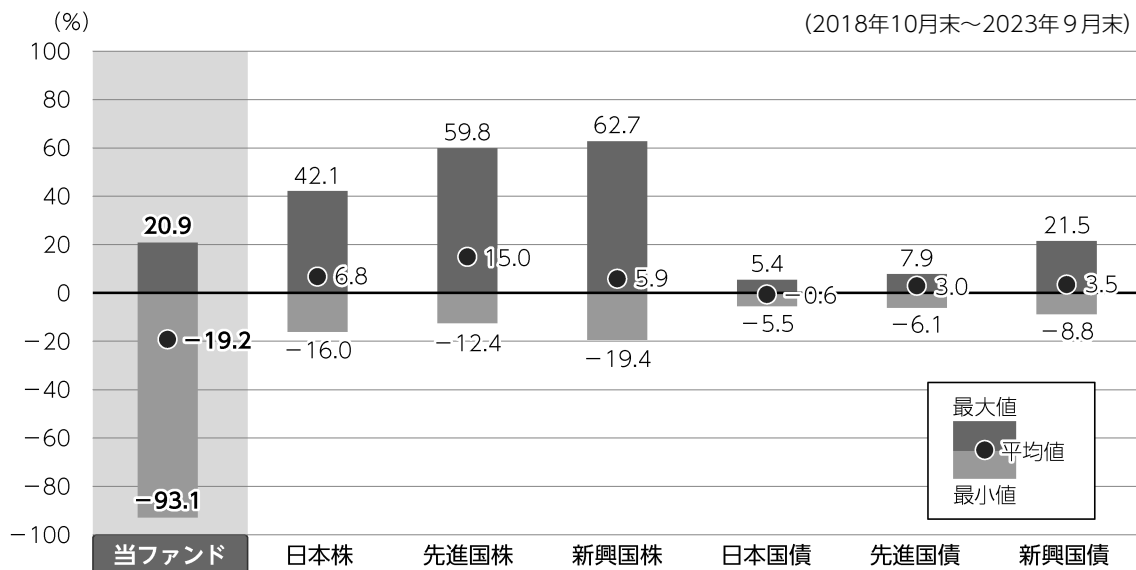
なお、当ファンドはロシアルーブル建てロシア国債に投資しており、米国人が当ファンドを通じて間接的に受領する取引についても当該規制が適用される可能性があります。

償還後も弊社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）の本件ファンドの個別商品ページにおいて引き続き、情報開示を行います。清算が可能となった場合だけでなく、状況に変化が無い場合にも、最新の状況について年2回（4月、10月を想定）の情報開示を行う予定です。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2023年10月25日まで（2013年7月11日設定）
運用方針	短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券への投資を通じて、ロシアルーブル建ての短期公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要投資対象	<p>■当ファンド 短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</p> <p>■短期ロシアルーブル債マザーファンド ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とします。</p>
運用方法	ロシアルーブル建ての短期公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2018年10月から2023年9月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2023年10月25日現在

## 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

信託終了日現在、有価証券の組み入れはありません。

なお、組み入れを行っていた「短期ロシアルーブル債マザーファンド」において、実質的にロシア国債3銘柄を保有している状態です。詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

### 純資産等

項目	第119期末 2023年5月25日	第120期末 2023年6月26日	第121期末 2023年7月25日	第122期末 2023年8月25日	第123期末 2023年9月25日	信託終了日 (第124期末) 2023年10月25日
純資産総額 (円)	44,495,585	44,494,139	44,492,829	44,491,429	44,490,028	44,376,801
受益権口数 (口)	1,253,411,772	1,253,411,772	1,253,411,772	1,253,411,772	1,253,411,772	1,253,411,772
1万口当たり基準価額 (円)	355	355	355	355	355	354.05

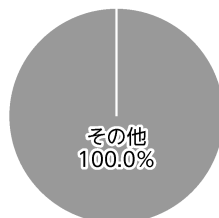
※当作成期間中（第119期～第124期）において追加設定元本は0円  
同解約元本は 0円です。

### 種別構成等

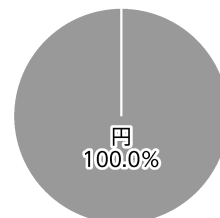
#### 資産別配分



#### 国・地域別配分



#### 通貨別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る商標又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

### ●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント